

県高P連広報

発行所
新潟県高等学校
PTA連合会
新潟市中央区新光町10-3
技術士センタービルⅡ-701
TEL (025) 384-8244
FAX (025) 384-8288
印刷所
(株)小林印刷所



ご挨拶

新潟県高等学校PTA連合会 会長
一般社団法人 新潟県高等学校
PTA安全互助会 理事長 坂爪 麻奈
(新潟中央高等学校PTA会長)

このたび、新潟県高等学校PTA連合会会長を務めさせていただくこととなりました。大役を仰せつかり責任の重さを感じるとともに、県内各高等学校PTAの皆様と力を合わせ、子どもたちの健全な成長と豊かな学びを支えていきたいと思っております。

就任以来、全国各地のPTA関係者の皆様とお会いし、お話を伺う機会に恵まれました。昨今、「PTAは必要なのか」という議論もあり、実際に交流する中で強く感じたのは、形や方法は違っても、「子どもたちのために何ができるか」を考え、懸命に活動している方々が全国に数多くいらっしゃるということです。その姿に触れ、PTA活動の意義と、そこに携わる皆様の思いの大きさを改めて実感しました。

日頃より、各学校や地域において子どもたちのために活動されている各単位PTAの皆様に、心より感謝申し上げますとともに、深い敬意を表します。皆様の一つひとつの活動が、子どもたちの学校生

活を支え、未来への力につながっていることを、私自身も心に刻んでおります。

一方で、時代の変化とともに、PTAのあり方も変わっていく必要があると思います。大切なのは、これまでの形を守ることはなく、子どもたちにとって本当に必要なことは何かを考え、保護者、学校、地域が力を寄せ合うことではないでしょうか。

私たち保護者も子どもたちの声に耳を傾け、学校や地域と手を携えながら、その成長を支えていきたいと思えます。県内のPTA同士がつながり、互いに学び合いながら、時代に合ったPTAのあり方をもとに考えてまいりましょう。

微力ではございますが、皆様とともに歩み、子どもたちの未来につながる活動を進めてまいります。県内各高等学校PTAのますますのご発展と、子どもたちの輝かしい未来、会員の皆様のご健勝を心より祈念申し上げます。就任のご挨拶といたします。

育んだ感性と友情

新潟西高等学校写真部
保護者 高橋 謙介

娘は、中古のカメラを手に三年間写真部に所属しました。一年次は学校行事の撮影が中心でしたが、二年次からは積極的に撮影会などに参加するようになりました。

部活動として毎月あちこち出かけ、他校の部員とも交流しながら、様々な風景や人物などを撮影し作品を制作しました。その結果、新潟県高等学校総合文化祭で優秀賞を受賞し、さらに全国高等学校総合文化祭でも奨励賞をいただくことができました。本人は「それほど熱心に取り組んでなかったけど、撮影会は楽しかった」と言います。それでも、楽し

天高く突き上げろ！



「山頂の伝統ポーズは団結力の証し」

新発田南高等学校 登山部
保護者 小竹 洋

二〇二六年新潟県総体、新発田南高校登山部は三連覇に挑みました。結果報告会へ向かう道中、息子から「優勝した」のLINE。三連覇達成、インターハイ出場!!この上ない吉報が届いた瞬間は今でも忘れられません。大きなプレッシャーの中、新潟県の頂点を守り抜いた選手たちの姿はとても誇らしいものでした。

インターハイでは、昨年より順位を上げることができ、三年間の集大成をキャプテンとして仲間と共に全力で戦い、悔いなく競技をやり切ったと言っています。

ながら何気ない日常の一瞬を切り取る本人の感性や視点が高く評価されたことを、親としては大変嬉しく思っています。また、部員たちと楽しく活動できたことは高校生活の大切な思い出となり、かけがえない財産になったと思います。この写真部で培った経験や感性を活かし、友情を大切に、人間性をさらに磨いてくれることを願っています。



「放課後の時間」

終わりに部活動を支援してくださった新潟西高校をはじめ、指導してくださった先生方や部員の皆様、今まで本当にありがとうございました。

た。とても良い経験になり大会に携わった全ての方々に感謝しています。

芝南登山部は、登山に必要な設営・炊事、読図・天気図作成などの基礎知識の習得・20kgの装備を担いでの体力強化、顧問の先生方の専門指導に加え、同じ釜のメシならぬ『マシユマロ焼き』を一緒に楽しみながら、仲間との一体感と絆を深めてきました。山頂で天に向かって拳を突き上げる「伝統ポーズ」は全部員が受け継いできた

団結力の証しです。これからも仲間と共に一歩一歩、さらなる高みを目指して頂上へ!

芝南FIGH T!



新潟県高等学校PTA連合会 総会報告

新潟県高等学校PTA会長 中枝 武司

令和八年六月五日、ホテルイタリア軒で今年度の県高P連総会・研究協議会、および（一社）新潟県高等学校PTA安全互助会社員総会が開催されました。

県高P連総会は永井智則副会長の開会のことば、国歌斉唱、古川憲会長の挨拶の後、来賓の新潟県教育委員会 教育長 太田勇二様（代読 教育次長 鶴巻勝様）より祝辞を賜りました。その後、前年度の会務ならびに決算の報告、会計監査報告、および役員改選が行われ、新会長には新潟中央高校の坂爪麻奈PTA会長が選出され、就任の挨拶の後、功労者へ感謝状が贈呈されました。長岡高校親師会長の小黒元副会長を議長に、今年度の活動方針・事業計画および収支予算案について審議され、承認されました。

安全互助会社員総会では新潟工業高校PTA会長中村未知副理事長の開会の辞、古川理事長の挨拶の後、前年度の事業報告・会計決算、役員選出、今年度の事業計画・収支予算について審議され承認されました。新理事長には坂爪麻奈県高



P連会長が選出されました。

研究協議会では各委員会の資料報告の後、四校のPTAより提案発表が行われました。第一発表は新潟田商業高校の「伝統を力に、地域と未来へつなぐサポートの輪」、第二発表は明鏡高校の「自分色をサポートするPTA活動」、第三発表は「塩沢商工高等学校のPTA活動について」、第四発表は「新潟県立新井高等学校PTA活動の紹介」とそれぞれ特色のある取り組みが紹介され、大変参考になりました。



最後に株式会社MGNET代表取締役の武田修美様から「産学共創で考えるこれからの教育のあり方」と題してご講演いただきました。燕市の金型製作所に生まれ、マジックメタルで有名な会社を起こし、企業、大学を巻き込んで社会をデザインし、地域のまちづくりに貢献する姿勢に深い感銘を受けました。



11月1日は「新潟県教育の日」

県高P連総会 提案発表

第一発表

伝統を力に、地域と未来をつなぐサポートの輪

新潟田商業高等学校

PTA会長 遠藤 直行

本校は大正六年に創立され、長い歴史と伝統を持つ商業高校です。商業教育を通して、地域社会の発展に貢献できる人材の育成を目指し、地域と連携した教育活動にも取り組んでいます。

本校PTAでは、学校と家庭が連携し、生徒たちの健やかな成長と学校教育の充実を支えるため、様々な活動を行っています。

体育祭では飲み物の提供を行い、生徒たちが安心して活動できるよう支援しています。また、PTA会報の発行や各種研修活動、学校行事への協力にも取り組んでいます。

研修活動では、保護者が生徒の進路について理解を深める機会として、毎年、専門学校や大学への視察を実施しています。このように、実際の教育環境や学習内容を見学することは、子どもたちの進路を考える貴重な機会となっています。

また広報活動として、生徒たちが作成したスクールキャラクター「しほりん」も活用しながら、PTA活動や生徒地域の方々に身近に感じてもらえる情報発信にも努めています。

これからも学校・家庭・地域のつながりを大切にし、伝統を受け継ぎながら、

第二発表

「自分色」をサポートする PTA活動

明鏡高等学校

PTA会長 丸山 智之

本校のスクールミッションは、「一人一人の可能性を拓く学校」です。また、教育テーマとして「花ひらく7色目は自分色」を大切にしています。校舎中央のホールの天井には、あえて6色の虹が描かれています。残る「7色目」には、生徒一人一人が自分らしく輝いてほしいという願いが込められています。

私たちPTAは、その「自分色」を支え、生徒の成長を応援しています。文化祭への協力、保護者同士が自由に語り合う「トトロの会」の運営、卒業生へのコサージュづくりなど、保護者も楽しみながら活動に参加しています。

生徒会主催の清掃活動「清め隊」やボランティアを通じた地域との交流活動にも参加し、つながりを育んでいます。学校運営協議会では、生徒たちと学校の未来を一緒に考えます。さらに「夢散歩」と名付けたPTA主催の研修では、若者支援の関係機関を訪ね、私たち保護者も一緒に学びます。

これからも学校・地域・関係機関をつなぐ要として、子どもたちの夢や希望という花が「自分色」で素敵に咲き誇ることを願い、活動を進めてまいります。

生徒一人一人の成長と進路実現を支え、新潟田商業高校のさらなる発展に微力ながら貢献してまいります。

北信越地区高等学校PTA連合会研究大会 石川大会報告

新潟工業高等学校PTA会長 齋藤 宏 明

七月九日・十日、金沢市の石川県立音楽堂コンサートホールを会場に、北信越地区高等学校PTA連合会研究大会石川大会が開催されました。

実践発表では、福井県立美方高等学校PTAと石川県立工業高等学校PTAが印象に残りました。美方高校では、校内レガッタのエキシビジョンレースにPTAチームとして参加するなど、役員自身が楽しみながら活動している様子が伝わってきました。会場全体を巻き込んだ「キャッチ・ロー」の掛け声も印象的でした。石川県立工業高校も、音楽や映像を取り入れ、生徒とともにPTA活動を楽しむ姿が印象的でした。PTAの目的



を大切にしながら、活動する側も楽しむことの大切さを感じました。

特別講演では、能登半島地震を経験した石川県立飯田高等学校の



前学校長及び前PTA会長から、災害への備えについて提言を伺いました。特に「水と簡易トイレは十日分」「腐らないものは場所を工夫してでも備蓄する」という話が心に残りました。必要性は分かっているけれども、なかなか行動に移せない自分自身を振り返る機会となりました。

二日目の記念講演では、金沢大学・教授 本所恵氏から、スウェーデンの教育を通して、子どもを一人の市民として尊重し、自分で選び、考え、行動する機会を与えることの大切さを学びました。「子どもに主体的に動いてほしい」と願う私たち大人こそ、子ども自身が決める機会を大切にする必要があると感じました。

今回の大会で得た学びを、PTA活動や家庭での子どもとの関わりに生かしていきたいと思っています。

最後になりますが、企画・運営に御尽力くださった皆様に心より感謝申し上げます。

第三発表

塩沼商工高校のPTA活動

塩沼商工高等学校 PTA会長 嶋田 友和

本校は県内唯一の「商工」高校で、南魚沼地域唯一の専門高校です。創立六十三周年を迎え、地域と連携した体験活動を通じて、地域を支える人材育成に努めています。特に工業科は、令和二年度に「地域創造工学科」へ改編。「仮設道路実習」は、南魚沼建設業協会から資材や重機、指導者の全面支援を受けており、全国でも珍しい取組となっています。

PTA活動では年二回の「挨拶運動」を実施、学校前に100m続く「商工坂」の沿道で声をかけています。保護者送迎が多い中、生徒の様子や表情を見られる貴重な機会です。また、「PTA講演会」では新潟工科大学 堀教授から「子供に負けない大人の生成AI講座」でご講演いただき、今年度文科省「生成AIパイロット校事業」研究指定校として、保護者も共に学びを深める好機となりました。年三回発行の「PTA会報」は地域の回覧板で、広く学校を紹介しています。

今後は「生徒との座談会」を計画し、「校則とは」「高校生らしさとは」「大人とは」といった問いについて、生徒と共に考えていく予定です。現在、働き方改革や少子化の影響から、新たな活動は難しい状況にあります。だからこそ、直接言葉を交わすことで、PTAが生徒にとって「知らない大人の集団」から「身近な応援団」へと変わっていくことを願っています。

第四発表

新井高校PTA活動の紹介

新井高等学校 PTA会長 横尾 航

本校は百十五年にわたる歴史と伝統を有した学校です。平成八年に総合学科へ移行し、現在に至っています。PTAとして、生徒の成長を支え、学校生活をより豊かにするため、「学校・家庭・地域」が一体となった活動を進めています。

学校行事への支援として、「六華祭」では、キッチンカーを招致して食品を提供し、行事を盛り上げています。また、アルミ缶回収を毎年実施し、その収益を生徒会に寄付しています。クロスカントリー大会では、運営補助を行っています。

一方で、社会課題への理解と生徒の安全を支える活動にも力を入れています。拉致問題啓発講演会を学校と共催し、保護者が生徒とともに人権問題について考える機会を設けています。また、県教育委員会によるいじめ対策総点検では、役員がオブザーバーとして参加し、学校のいじめ対策について理解を深めています。さらに、オール妙高あいさつ運動では、役員が玄関に立ち、登校してくる生徒に声を掛けています。

今後も、学校の教育方針を理解し、地域との橋渡し役を担いながら、学校と一体となって生徒を支える体制づくりを進めていきます。



新潟南P会長・見田